



Local to Localでつながる地方創生in茅野2023 スーパーシティ・デジタル田園健康特区 フォーラム

11月8日、茅野市民館で「スーパーシティ・デジタル田園健康特区フォーラム」が開催され、関係者や市民約500人が参加しました。

デジタル田園健康特区の指定を受けている茅野市と石川県加賀市、岡山県吉備中央町の首長と特区関連の事業設計を担う有識者（アーキテクト）の皆さんが、現在のデジタル技術を活用した取り組みや将来の展望について語り合い、情報を共有しました。



美しい紅葉が見られる場所を目指して 市民の森第15回育林祭

10月28日、茅野市市民の森で「市民の森第15回育林祭」が開催され、市内企業の(株)キッツメタルワークスや野村ユニソン(株)（順不同）、一般参加者など約20人が参加しました。

参加者は、市民の池を目指し、木々の説明を受けながら紅葉深まる約2キロの遊歩道を歩きました。市民の池到着後は、ヤマモミジ15本とヤマボウシ5本の計20本の苗木を、木々が大きく育ち、新たな紅葉スポットとなることを期待して植樹しました。



姉妹都市で茅野市の魅力をPR 姉妹都市での茅野市農産物の販売

10月1日、「神奈川県伊勢原市 道灌まつり」、11月12日、「千葉県旭市 産業まつり」、11月23日、「岡山県総社市 収穫祭」に参加し、茅野市のりんごやセロリなどの農産物を販売しました。この3市は、茅野市の姉妹都市となっており、毎年、年1回茅野市の農産物などを販売しています。

当日は、販売前から多くの方が列を作り、茅野市の農産物を買って求めていました。多くの方に茅野市の美味しい農産物を味わってもらう機会となりました。



市民の皆さんと市長が膝を交えて語り合う まちづくり懇談会

9月26日、中大塩地区コミュニティセンターで「まちづくり懇談会」が開催されました。

まちづくり懇談会（通称「まち懇」）は、多くの市民の皆さんと市長が膝を交えて語り合う機会として開催されています。今年度は、「大切なものを守るため、新しいまちづくりを始めよう」をテーマに、行財政改革などに取り組む茅野市の現状を説明し、茅野市の将来像に向けての意見交換を行いました。

市内10地区で、全10回、11月上旬まで開催されました。